

耳鼻咽喉科

てこずった症例の
ブレイクスルー

編集 本庄 巖
京都大学名誉教授

中山書店

序 文

以前に中山書店から「コツと落とし穴」と題した書物が出版された。編者もこれに一篇を寄せた覚えがあるが、成書が触れることの少ない疾患の診断のコツ、治療にあたっての危険性など、経験豊富な先達の知識が披露されており、読みごたえのある書物になっていた。

さて今回の本書「耳鼻咽喉科でこずった症例のブレイクスルー」は先の書物と趣きは似ているが、いま一步踏み込んで、いかに困難例に対処しそれを克服したかが、ベテランの先生方の自験例に基づいて述べられている。

私たち耳鼻咽喉科医は外科医でもあるので、手術室の中だけでなく外来での外科的処置でも予想しない危険や困難な事態に直面する。編者も外来で行なった鼓膜切開で大量の耳出血を経験し、その対応に苦慮した経験をもつ。意欲的に医療を行おうとすれば困難例に遭遇する頻度は当然高くなるが、それを恐れていてはよい医療は望めない。

あらためて本書に納められた原稿に目を通してみたが、稀な疾患の鑑別診断にいたる道筋、深い洞察と綿密な配慮に基づく果敢な治療への取り組みなど、臨床医として教えらるるところが多かった。同時に現在多くの領域で治療基準とされている EBM には収まらない疾患群や治療法があることも実感させられ、医療というものが統計処理だけでは済まない面をもつことを再確認した。

長年教職にあった関係で、編者は自験例だけでなく廻診などで多くの症例を見る機会に恵まれたが、本書で示された 100 例に余る困難例のうち、わずかに数例のみしか類似症例の経験をもたない。耳鼻咽喉科領域にこのような症例もあったのか、あるいはこのような手術のアプローチがあったのかと驚くことがしばしばであった。本書が専門医を目指す研修医はもちろん、専門医として日夜診療に携わっておられる先生方にとっても裨益するところが大きな書物であると信じている。

平成 23 年 10 月

京都大学名誉教授

本庄 巖

CONTENTS

1 耳

【診断・検査】

耳痛で見逃しやすい疾患 — 実は Hunt 症候群であった	浦野正美	2
胃食道逆流症/咽喉頭(酸)逆流症を背景とする難治性中耳炎症例の経験	上出洋介	4
画像診断が困難なアブミ骨脚骨折症例 — 耳管通気後に発症した伝音難聴症例	田中康広	6
内耳障害合併例での難聴改善手術の適応	奥野妙子	8
突発性難聴を発症した成人両側耳小骨奇形症例	橋本 誠, 山下裕司	10
診断に苦慮した中耳悪性リンパ腫の一例	佐々木 亮, 新川秀一	12
蝸牛瘻孔に外リンパ漏出が伴っていることから早期治療が必要だと判断できた症例	池園哲郎, 欠畑誠治, 佐々木 亮	14
耳管開放症との鑑別が難しい上半規管裂隙症候群	菊地俊晶, 小林俊光	16
原因不明の難聴とされていた先天性サイトメガロウイルス感染症	泰地秀信	18
診断に苦慮した後頭蓋底骨肉腫症例	橋本 省	20

【治療】

surfer's ear — 悔恨の手術	稲福 繁	22
悪性外耳道炎も考えられた外耳道真珠腫症例	西崎和則	24
浅在化鼓膜の手術治療	佐藤進一	26
鼓膜換気チューブ留置後の難治性耳漏症例について	宇野芳史	28
難治な成人の滲出性中耳炎に手術が奏効した症例	朴澤孝治	30
小児の難治性中耳炎(遷延性, 反復性)にどのようにアプローチするか	榎野敦子, 山中 昇	32
非結核性抗酸菌性中耳炎	近澤仁志, 小島博己	34
難治性中耳炎に対する外耳道閉鎖術 — blind sac closure	藤原敬三, 内藤 泰	36
経過中に難聴を呈した両側 MRSA による慢性化膿性中耳炎症例	西崎和則	38
局麻下接着法の手術中に真珠腫が見つかった場合の対処	須納瀬 弘	40
乳突腔障害に対する乳突腔充填術	山本悦生	42
鼓膜張筋腱が切断された症例における IV 型・V 型伝音再建の術後聴力成績を よくするための工夫	齋藤武久	44
アブミ骨手術時の底の前庭陥入に対する対応	高木 明	46
Intact Canal Wall Tympanoplasty	比野平恭之	48
鼓室硬化症の手術	佐藤進一	50
鼓膜形成術と耳管ピン挿入術を同時に施行した隠蔽性耳管開放症例	菊地俊晶, 小林俊光	52
鼓室形成術再手術例より学べること	奥野妙子	54

耳管狭窄を合併した単純穿孔性慢性中耳炎患者の術後性滲出性中耳炎を

予防するための工夫	齋藤武久	56
前庭窓欠損症例の聴力改善手術	高木 明	58
側頭骨吸収像を伴う混合性難聴の診断と治療	熊川孝三・眞岩智道	60
致死的髄膜炎を反復した小児内耳奇形への手術治療	枝松秀雄, 小林真由美	62
空気を生食で置換し治癒したアブミ骨手術直後の迷路気腫症例	新藤 晋, 池園哲郎	64
特発性耳性髄液漏症例の診断と治療	金丸眞一, 山本季来	66
耳鳴に対する音響療法の困難症例への対処	森 浩一	68
難治性混合性難聴に対する人工中耳・BAHA 手術の選択	岩崎 聡	70
先天性低ガンマグロブリン血症児の髄膜炎後難聴に対する人工内耳手術	高橋晴雄, 蓑田涼生	72
小さな common cavity 例の人工内耳手術	内藤 泰	74
好酸球性中耳炎重度難聴に対する人工内耳手術	岩崎 聡	76
術中に gusher を呈した特発性髄液耳漏への対応	田中康広	78
停止に苦慮した聴神経腫瘍摘出後の髄液鼻漏	山本 裕	80

【患者への対応】

過度の患者の期待と術後の不満への対応	中川尚志	82
高位頸静脈球のある聴神経腫瘍に対する手術戦略	金丸眞一	84

2 めまい

【診断・検査】

めまい疾患の診断における指標追跡検査の重要性	朝隈真一郎	88
初診時に前庭神経炎と診断した Wallenberg 症候群	喜多村 健	90
急性めまいで発症し、初回の MRI 拡散強調画像では検出が困難であった Wallenberg 症候群	橋本 誠, 山下裕司	92

【治療】

難聴の治療に苦慮した両側メニエール病症例	隈上秀高	94
20 年以上持続した難治性頭位めまい症例の治療	隈上秀高	96
めまいと難聴を伴う前庭水管拡大症の外科的治療	熊川孝三	98

3 鼻

【診断・検査】

診断に苦慮した後副鼻腔真菌症例	唐木將行	102
鼻漏で見逃しやすい疾患——実は蝶形骨洞炎であった	浦野正美	104
副鼻腔異物の診断	齋藤弘亮, 飯田政弘	106
若年性鼻咽腔血管線維腫と鑑別が困難であった上顎洞血瘤腫症例	朝子幹也	108
鼻性眼窩内合併症と鑑別を要し、甲状腺眼症の関与も考えられた症例	上條 篤, 和田伊佐雄, 井上立州	110
慢性副鼻腔炎が誘因と考えられた血管性浮腫症例	洲崎春海	112
当初副鼻腔炎から波及した眼窩先端症候群と診断し再発を繰り返した症例	上條 篤, 金井真理	114
難治性後鼻漏感を有する慢性副鼻腔炎症例における咽喉頭酸逆流症と 睡眠時無呼吸治療の効果	石野岳志, 竹野幸夫	116
内頸動脈仮性動脈瘤破裂に伴う大量鼻出血	宇野匡祐, 松脇由典	118

【治療】

アレルギー性鼻炎患者の妊娠とトリクロール酢酸下鼻甲介化学剤手術	八尾和雄	120
アレルギー性鼻炎に合併する鼻ポリープ	松根彰志, 大久保公裕	122
CO ₂ レーザー下鼻甲介焼灼時の副反応対策	上野員義	124
後鼻神経切断術における蝶口蓋孔の位置と神経線維束の走行に関しての normal anatomical variants	竹野幸夫	126
小児急性鼻副鼻腔炎の長期にわたる膿性鼻汁症例に対する治療法	宇野芳史	128
鼻副鼻腔腫瘍組織採取時の内頸動脈出血事例	西野 宏	130
上顎洞真菌症——真菌塊の残存にてこずったら	鴻 信義	132
眼窩に進展する嚢胞を伴った両側前頭洞内反性乳頭腫症例	朝子幹也	134
がん化が認められた副鼻腔乳頭腫例	中川隆之	136
診断・治療が困難な眼窩吹き抜け骨折	唐木將行	138
歯科インプラント治療による上顎洞炎	佐藤公則	140
錐体尖部コレステリン肉芽腫症に対する経蝶形骨洞手術の適応と実際	松脇由典, 小島博己	142
局所制御に難渋した脊索腫例	中川隆之	144
上咽喉がん根治照射後に浸潤型副鼻腔真菌症および内頸動脈仮性動脈瘤 形成・破裂をきたした症例	小松正規, 石戸谷淳一	146

4 のど

【診断・検査】

診断に苦慮した薬剤性過敏症症候群による重症皮疹と口内・咽頭痛	鹿野真人	150
難治性咽頭潰瘍	坂本 要, 増山敬祐	152
咽喉頭の症状を訴える心臓疾患患者	朝隈真一郎	154
魚骨異物との鑑別が困難だった過長茎状突起	山下ゆき子, 石戸谷淳一	156
CT, 上部消化管内視鏡で指摘されなかった下咽頭がん症例	星川広史	158
咽喉頭異常感症と診断された有茎性喉頭嚢胞症例	土師知行, 辻村隆司	160
見逃しやすい下咽頭輪状後部・頸部食道がん	古川まどか	162
咽喉頭酸逆流による夜間の咳嗽	佐藤公則	164
喉頭ファイバースコープ検査施行中に呼吸困難をきたした 再発性多発性軟骨炎 (RP) 症例	甲能直幸	166
喉頭の血管性浮腫	大森孝一	168
抗がん薬併用同時化学放射線治療の救済手術における頸動脈破裂の危険予測	西野 宏	170

【治療】

発見が困難であった咽頭後隙歯ブラシ異物	泰地秀信	172
アデノイド切除ポリサージャリー症例	白崎英明	174
前医での治療に抵抗性であった喉頭外傷の治療	朴澤孝治	176
下咽頭破裂症例 (広範囲の気腫を伴う) の治療 ― 気道確保の方法・診断・治療	平川勝洋	178
喉頭顕微鏡下手術における喉頭展開困難例への対処	福田宏之	180
喉頭全摘後に咽頭瘻孔をきたした透析症例への対応	中谷宏章	182
喉頭展開が困難であったポリープ様変性症例	白崎英明	184
両側披裂部に生じた喉頭乳頭腫	森 一功	186
再発した喉頭乳頭腫の治療症例	峯田周幸	188
声帯の癒着性疾患	平野 滋	190
気管切開孔を有する嚥下障害症例への対応	大前由紀雄	192
気管内肉芽による気道狭窄をきたした重症心身障害者 鈴木秀明, 村上知恵, 若杉哲郎, 寶地信介		194
気管切開中の気道熱傷と気管狭窄	大上研二	196
救命しえた気管腕頭動脈瘻の一例	竹内万彦, 坂井田 寛	198
頸部術後出血における緊急気管切開術	大森孝一	200

5 頸部・甲状腺ほか

【診断・検査】

耳鼻咽喉科を初診した破傷風症例	洲崎春海	204
IgG4 関連疾患の全身合併症は予測可能か	太田伸男	206
偽性球麻痺後遺症としてフォローされていた重症筋無力症	大前由紀雄	208
耳下腺悪性腫瘍との鑑別に難渋した結核症例	花澤豊行, 伊原史英, 茶園英明, 岡本美孝	210
ビスホスホネート製剤による顎骨壊死	小池修治	212
頸部腫脹 — 原発不明がんの頸部リンパ節転移か鰓原性がんか	坂本 要, 増山敬祐	214
甲状腺がんの骨転移治療の対応	下出祐造, 堤内俊喜, 辻 裕之	216
頸部神経鞘腫の診断とインフォームドコンセント	嶋根俊和	218
頸部神経鞘腫の診断 — 転移リンパ節との鑑別	古川まどか	220
内頸動脈温存のための副咽頭間隙腫瘍に対するアンギオ 3DCT の活用	行木英生	222
照射後再発進行喉頭がんの機能温存手術	中山明仁, 岡本牧人	224
細菌検査がクリニック診療で大切な理由	藤吉達也	226

【治療】

ガン腫の OK-432 局所注入療法のコツと落とし穴	太田伸男	230
甲状腺がん気管内浸潤例に対する気管内ステントの利用	坪田 大	232
甲状腺上極の腫瘍に対する穿刺対応 — 頸部回旋による穿刺リスクの軽減	下出祐造, 堤内俊喜, 辻 裕之	234
甲状腺疾患と胸部病変 — 微小がんの縦隔転移	片岡真吾	236
甲状腺疾患と胸部病変 — 肺転移に対しヨード内用療法を施行し治癒に至った例	片岡真吾	238
無治療/姑息的治療で良好な QOL を維持できた頭頸部悪性腫瘍症例	庄司和彦	240
椎骨動脈からの術後出血への対応(食道がん頸部転移)		
— IRRF のバルーン止血, 椎骨動脈結紮	平川勝洋	242
認知症を合併した頭頸部がん症例への対応	本田耕平	244

【患者への対応】

頭頸部腫瘍術中の脳梗塞発症とインフォームドコンセント	嶋根俊和, 中村泰介	246
執筆者索引		248
索引		252

執筆者一覧 (五十音順)

朝隈真一郎	朝隈耳鼻咽喉科医院	上 條 篤	埼玉医科大学耳鼻咽喉科/アレルギーセンター
朝 子 幹 也	関西医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科	上 出 洋 介	かみで耳鼻咽喉科クリニック
飯 田 政 弘	東海大学耳鼻咽喉科	唐 木 將 行	香川大学耳鼻咽喉科頭頸部外科
池 園 哲 郎	埼玉医科大学病院耳鼻咽喉科	菊 地 俊 晶	東北大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科
石戸谷淳一	横浜市立大学附属市民総合医療センター耳鼻咽喉科	喜多村 健	東京医科歯科大学耳鼻咽喉科
石 野 岳 志	広島大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科	隈 上 秀 高	日本赤十字社長崎原爆病院耳鼻咽喉科
稲 福 繁	愛知淑徳大学クリニック耳鼻咽喉科	熊 川 孝 三	虎の門病院耳鼻咽喉科・聴覚センター
井 上 立 州	オリンピア眼科	小 池 修 治	山形大学耳鼻咽喉・頭頸部外科
伊 原 史 英	千葉大学耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	甲 能 直 幸	杏林大学耳鼻咽喉科
岩 崎 聡	国際医療福祉大学三田病院耳鼻咽喉科	小 島 博 己	東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科
上 野 員 義	うへの耳鼻咽喉科クリニック	小 林 俊 光	仙塩利府病院耳鼻咽喉科・耳科手術センター
宇 野 匡 祐	東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科	小林真由美	東邦大学第一耳鼻咽喉科
宇 野 芳 史	宇野耳鼻咽喉科クリニック	小 松 正 規	横浜市立大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科
浦 野 正 美	浦野耳鼻咽喉科医院	齋 藤 弘 亮	東海大学耳鼻咽喉科
枝 松 秀 雄	東邦大学第一耳鼻咽喉科	齋 藤 武 久	福井大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科
大 上 研 二	東海大学耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍センター	坂井田 寛	三重大学耳鼻咽喉・頭頸部外科
大久保公裕	日本医科大学耳鼻咽喉科	坂 本 要	山梨大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科
太 田 伸 男	山形大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科	佐々木 亮	弘前大学耳鼻咽喉科
鴻 信 義	東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科	佐 藤 公 則	佐藤クリニック耳鼻咽喉科・頭頸部外科/久留米大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科
大前由紀雄	大生水野クリニック耳鼻咽喉科	佐 藤 進 一	倉敷中央病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科
大 森 孝 一	福島県立医科大学耳鼻咽喉科	嶋 根 俊 和	昭和大学藤が丘病院耳鼻咽喉科
岡 本 牧 人	北里大学耳鼻咽喉科	下 出 祐 造	金沢医科大学頭頸部外科
岡 本 美 孝	千葉大学耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	庄 司 和 彦	天理よろづ相談所病院耳鼻咽喉科
奥 野 妙 子	三井記念病院耳鼻咽喉科	白 崎 英 明	札幌医科大学耳鼻咽喉科
欠 畑 誠 治	山形大学耳鼻咽喉科	新 川 秀 一	弘前大学耳鼻咽喉科
片 岡 真 吾	松阪中央総合病院耳鼻咽喉科	新 藤 晋	埼玉医科大学病院耳鼻咽喉科
金 井 真 理	山梨大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科	洲 崎 春 海	昭和大学耳鼻咽喉科
金 丸 眞 一	田附興風会 医学研究所 北野病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科	鈴 木 秀 明	産業医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科
鹿 野 真 人	大原総合病院耳鼻咽喉科・頭頸部顔面外科	須納瀬 弘	東京女子医科大学東医療センター耳鼻咽喉科

泰地秀信	東京都済生会中央病院耳鼻咽喉科	福田宏之	東海大学医学部付属東京病院東海ボイスクリニックセンター
高木明	静岡県立総合病院頭頸部・耳鼻咽喉科	藤吉達也	耳鼻咽喉科 藤吉クリニック
高橋晴雄	長崎大学耳鼻咽喉科	藤原敬三	神戸市立医療センター中央市民病院耳鼻咽喉科
竹内万彦	三重大学耳鼻咽喉・頭頸部外科	古川まどか	神奈川県立がんセンター頭頸部外科
竹野幸夫	広島大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科	朴澤孝治	朴澤耳鼻咽喉科
田中康広	獨協医科大学越谷病院耳鼻咽喉科	竇地信介	産業医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科
近澤仁志	東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科	星川広史	香川大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科
茶園英明	千葉大学耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	本田耕平	秋田大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科
辻裕之	金沢医科大学頭頸部外科	眞岩智道	虎の門病院耳鼻咽喉科・聴覚センター
辻村隆司	国立病院機構 京都医療センター耳鼻咽喉科・頭頸部外科	榊野敦子	和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科
堤内俊喜	金沢医科大学頭頸部外科	増山敬祐	山梨大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科
坪田大	市立函館病院耳鼻咽喉科	松根彰志	日本医科大学武蔵小杉病院耳鼻咽喉科
内藤泰	神戸市立医療センター中央市民病院耳鼻咽喉科	松脇由典	東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科
中川尚志	福岡大学耳鼻咽喉科	峯田周幸	浜松医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科
中川隆之	京都大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科	蓑田涼生	熊本大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科
中谷宏章	栃木県立がんセンター頭頸科	村上知恵	北九州市立総合療育センター小児科
中村泰介	昭和大学藤が丘病院耳鼻咽喉科	森一功	近畿大学医学部堺病院耳鼻咽喉科
中山明仁	北里大学耳鼻咽喉科	森浩一	国立障害者リハビリテーションセンター研究所 感覚機能系障害研究部
行木英生	静岡赤十字病院耳鼻咽喉科	八尾和雄	大船中央病院耳鼻咽喉科
西崎和則	岡山大学耳鼻咽喉・頭頸部外科	山下裕司	山口大学耳鼻咽喉科
西野宏	自治医科大学耳鼻咽喉科	山下ゆき子	横浜市立大学附属市民総合医療センター耳鼻咽喉科
土師知行	県立広島大学保健福祉学部コミュニケーション障害学科	山中昇	和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科
橋本省	国立病院機構 仙台医療センター耳鼻咽喉科・頭頸部外科	山本悦生	耳鼻咽喉科サージックリニック老木医院山本中耳サージセンター
橋本誠	山口大学耳鼻咽喉科	山本季来	田附興風会 医学研究所 北野病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科
花澤豊行	千葉大学耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学	山本裕	新潟大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科
比野平恭之	昭和大学耳鼻咽喉科	若杉哲郎	産業医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科
平川勝洋	広島大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科	和田伊佐雄	埼玉医科大学耳鼻咽喉科
平野滋	京都大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科		

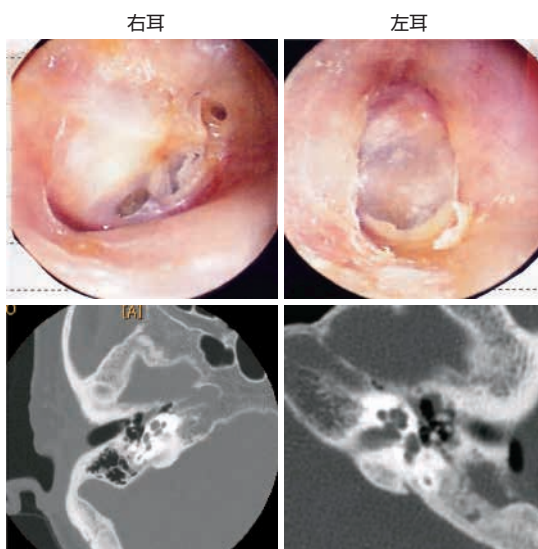
鼓室形成術再手術例より学べること

奥野妙子

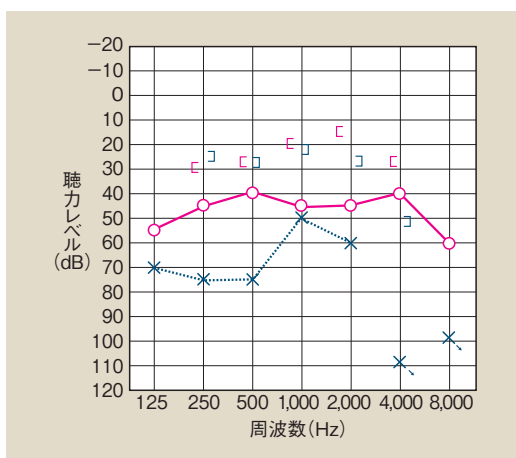
難聴の改善目的で再手術となった症例

67歳の女性。20年前に左耳、10年前に右耳の手術を地元の病院で受けた。右耳は術後耳漏が続く。当院には難聴改善を希望して受診した。右耳は鼓膜に小穿孔が認められる(①)。鼓膜全体も厚さが不均一で臍もはっきりしない。左の鼓膜はlateral healingでツチ骨とは離れている。聴力検査では両耳とも混合性難聴がある(②)。

側頭骨CTでは、右耳は中耳腔の含気はよく耳小骨も正常の位置に認められる。左耳は後壁保存型乳突削開術(CWU)が行われているが乳突腔は軟部組織陰影を呈する。正常の耳小骨ではなく、鼓室後方に骨性の陰影があるが、潜在化した鼓膜との連鎖は認められない。前回の手術で形成したコルメラの可能性もある。



① 耳鏡所見と側頭骨CT



② 初診時聴力所見

手術手技に起因する難聴の原因

③に術後に起こる難聴の原因をあげた。鼓膜に問題がある場合と伝音連鎖に問題がある場合が考えられる。

1. 鼓膜の問題

- 1) 鼓膜穿孔
- 2) lateral healing
- 3) 鼓膜癒着

2. コルメラの問題

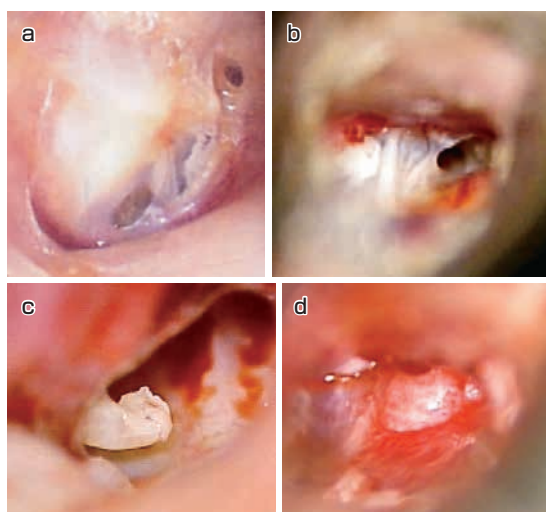
- 1) コルメラが外れた
- 2) コルメラの排出
- 3) コルメラの固着
- 4) 耳小骨が溶けた

③ 手術手技に起因する難聴の原因

鼓膜に再穿孔を生じることが時にある。閉鎖しない場合、再手術を行えば一般には予後はよい。lateral healingはツチ骨と浅在化してしまった鼓膜とのあいだに連鎖が形成されな

いものである。初回手術のとき、ツチ骨柄と鼓膜とのあいだを剥離してしまうとlateral healingが起こる。一度浅在化してしまうと元の位置に鼓膜が戻ることはなく、伝音連鎖の再建はこのことをふまえた手技が必要となる。癒着してしまった鼓膜も、ただ剥離しただけでは再癒着する。癒着防止膜を用いて二次的な手術も行われる。ただ、手術を繰り返すとより癒着しやすくなるという面もあり、手術の手技と適応は慎重でなければならない。

もう一つ聴力が改善しない原因として、コルメラの問題がある。当初の場所から外れてしまった場合、あるいは人工材料を利用した場合、軟骨で鼓膜とのあいだを覆わないと異物であるため排出



④ 右耳の手術所見

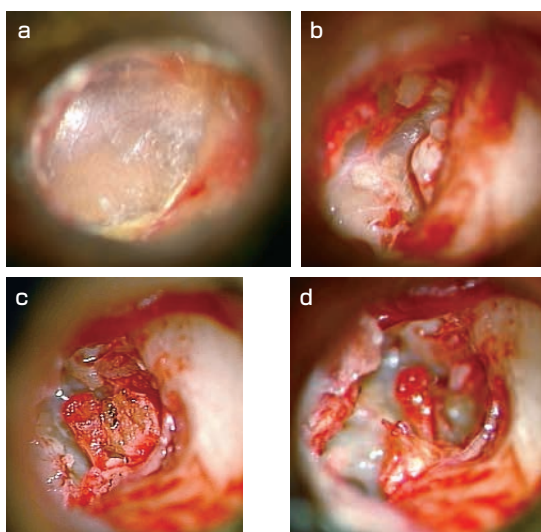
- a: 術前の鼓膜.
- b: 小穿孔もある.
- c: 鼓膜がツチ骨腭よりはがれている.
- d: 筋膜を underlay.

されてしまう。感染が伴うと排出されやすくなる。コルメラを自家骨（耳小骨、皮質骨など）で形成した場合、周囲の骨と接していると固着することがある。内耳障害を起こさずに固着を切離するのはレーザーを用いるなど、振動を与えることなしに行う必要がある。固着を回避するためには、骨ではなく軟骨を用いると容易に外すことができる。逆に感染耳ではコルメラが溶けることもある。

手術手技の選択は慎重に。再手術で困らないことも考える！

まず、右耳の手術を行った（④）。こちらのほうが良い予後が期待できそうだからである。鼓膜を翻転するとツチ骨先端から外されていた。lateral healing を避けるため筋膜を underlay して手術を終了した。

次いで左耳の手術を行った（⑤）。鼓膜は完全



⑤ 左耳の手術所見

- a: 鼓膜は完全に lateral healing.
- b: アブミの周囲に鼓室硬化症.
- c: 核にはアブミと連鎖形成のコルメラ.
- d: これを取り除くとアブミはきれい.
- e: plastipore の TORP と軟骨で lateralized した鼓膜まで連鎖形成.

に lateral healing を起こしていた。また CT では鼓室硬化症は写らないが、アブミの周囲を囲んでいた。層状に取り除いていくと、この原因と考えられる骨性のコルメラがあった。CT で骨の陰影に写っていたのはこれと考えられる。しかもアブミ骨と顔面神経のあいだに挟まり、アブミの固着を生じていた。これを取り除くことができたため、plastipore の TORP を高くたて、この上を軟骨で覆って浅在化した鼓膜に連鎖を形成した。

きれいな形態を保った鼓膜を浅在化させないことは重要である。また、再手術を考えて手術をするわけではないが、軟骨によるコルメラは骨よりはるかに外しやすい。

ブレイクスルーのポイント

- 鼓膜を浅在化させないことは重要である。overlay, inlay の術式では慎重な手技が求められる。
- コルメラの材料もダメージを与えることなくやり直しができるものがよい。軟骨は扱いやすく、また排出されることもない。

執筆者索引

朝隈 真一郎

めまい疾患の診断における指標追跡検査の重要性 88
咽喉頭の症状を訴える心臓疾患患者 154

朝子 幹也

若年性鼻咽腔血管線維腫と鑑別が困難であった上顎
洞血腫腫症例 108
眼窩に進展する嚢胞を伴った両側前頭洞内反性乳頭
腫症例 134

飯田 政弘

副鼻腔異物の診断 106

池園 哲郎

蝸牛瘻孔に外リンパ漏出が伴っていることから早期
治療が必要だと判断できた症例 14
空気を生食で置換し治療したアブミ骨手術直後の迷
路気腫症例 64

石戸谷 淳一

上咽頭がん根治照射後に浸潤型副鼻腔真菌症および
内頸動脈仮性動脈瘤形成・破裂をきたした症例 146
魚骨異物との鑑別が困難だった過長茎状突起 156

石野 岳志

難治性後鼻漏感を有する慢性副鼻腔炎症例における
咽喉頭酸逆流症と睡眠時無呼吸治療の効果 116

稲福 繁

surfer's ear ― 悔恨の手術 22

井上 立州

鼻性眼窩内合併症と鑑別を要し、甲状腺眼症の関与
も考えられた症例 110

伊原 史英

耳下腺悪性腫瘍との鑑別に難渋した結核症例 210

岩崎 聡

難治性混合性難聴に対する人工中耳・BAHA 手術の
選択 70
好酸球性中耳炎重度難聴に対する人工内耳手術 76

上野 員義

CO₂ レーザー下鼻甲介焼灼時の副反応対策 124

宇野 匡祐

内頸動脈仮性動脈瘤破裂に伴う大量鼻出血 118

宇野 芳史

鼓膜換気チューブ留置後の難治性耳漏症例について
28
小児急性鼻副鼻腔炎の長期にわたる膿性鼻汁症例に
対する治療法 128

浦野 正美

耳痛で見逃しやすい疾患 ― 実は Hunt 症候群であっ

た 2

鼻漏で見逃しやすい疾患 ― 実は蝶形骨洞炎であっ
た 104

枝松 秀雄

致死性髄膜炎を反復した小児内耳奇形への手術治療
62

大上 研二

気管切開中の気道熱傷と気管狭窄 196

大久保 公裕

アレルギー性鼻炎に合併する鼻ポリープ 122

太田 伸男

IgG4 関連疾患の全身合併症は予測可能か 206
gamma腫の OK-432 局所注入療法のコツと落とし穴
230

鴻 信義

上顎洞真菌症 ― 真菌塊の残存にてこずったら 132

大前 由紀雄

気管切開孔を有する嚥下障害症例への対応 192
偽性球麻痺後遺症としてフォローされていた重症筋
無力症 208

大森 孝一

喉頭の血管性浮腫 168
頸部術後出血における緊急気管切開術 200

岡本 牧人

照射後再発進行喉頭がんの機能温存手術 224

岡本 美孝

耳下腺悪性腫瘍との鑑別に難渋した結核症例 210

奥野 妙子

内耳障害合併例での難聴改善手術の適応 8
鼓室形成術再手術例より学べること 54

欠畑 誠治

蝸牛瘻孔に外リンパ漏出が伴っていることから早期
治療が必要だと判断できた症例 14

片岡 真吾

甲状腺疾患と胸部病変 ― 微小がんの縦隔転移 236
甲状腺疾患と胸部病変 ― 肺転移に対しヨード内用療
法を施行し治癒に至った例 238

金井 真理

当初副鼻腔炎から波及した眼窩先端症候群と診断し
再発を繰り返した症例 114

金丸 眞一

特発性耳性髄液漏症例の診断と治療 66
高位頸静脈球のある聴神経腫瘍に対する手術戦略 84

鹿野 真人

診断に苦慮した薬剤性過敏症候群による重症皮疹と口内・咽頭痛 150

上條 篤

鼻性眼窩内合併症と鑑別を要し、甲状腺眼症の関与も考えられた症例 110

当初副鼻腔炎から波及した眼窩先端症候群と診断し再発を繰り返した症例 114

上出 洋介

胃食道逆流症/咽喉頭（酸）逆流症を背景とする難治性中耳炎症例の経験 4

唐木 將行

診断に苦慮した後副鼻腔真菌症例 102

診断・治療が困難な眼窩吹き抜け骨折 138

菊地 俊晶

耳管開放症との鑑別が難しい上半規管裂隙症候群 16
鼓膜形成術と耳管ピン挿入術を同時に施行した隠蔽性耳管開放症例 52

喜多村 健

初診時に前庭神経炎と診断した Wallenberg 症候群 90

隈上 秀高

難聴の治療に苦慮した両側メニエール病症例 94
20 年以上持続した難治性頭位めまい症例の治療 96

熊川 孝三

側頭骨吸収像を伴う混合性難聴の診断と治療 60
めまいと難聴を伴う前庭水管拡大症の外科的治療 98

小池 修治

ビスホスホネート製剤による顎骨壊死 212

甲能 直幸

喉頭ファイバースコープ検査施行中に呼吸困難をきたした再発性多発性軟骨炎（RP）症例 166

小島 博己

非結核性抗酸菌性中耳炎 34
錐体尖部コレステリン肉芽腫症に対する経蝶形骨洞手術の適応と実際 142

小林 俊光

耳管開放症との鑑別が難しい上半規管裂隙症候群 16
鼓膜形成術と耳管ピン挿入術を同時に施行した隠蔽性耳管開放症例 52

小林 真由美

致死性髄膜炎を反復した小児内耳奇形への手術治療 62

小松 正規

上咽頭がん根治照射後に浸潤型副鼻腔真菌症および内頸動脈仮性動脈瘤形成・破裂をきたした症例 146

齋藤 弘亮

副鼻腔異物の診断 106

齋藤 武久

鼓膜張筋腱が切断された症例における IV 型・V 型伝音再建の術後聴力成績をよくするための工夫 44
耳管狭窄を合併した単純穿孔性慢性中耳炎患者の術後性滲出性中耳炎を予防するための工夫 56

坂井田 寛

救命しえた気管腕頭動脈瘻の一例 198

坂本 要

難治性咽頭潰瘍 152
頸部腫脹——原発不明がんの頸部リンパ節転移か鰓原性がんか 214

佐々木 亮

診断に苦慮した中耳悪性リンパ腫の一例 12
蝸牛瘻孔に外リンパ漏出が伴っていることから早期治療が必要だと判断できた症例 14

佐藤 公則

歯科インプラント治療による上顎洞炎 140
咽喉頭酸逆流による夜間の咳嗽 164

佐藤 進一

浅在化鼓膜の手術治療 26
鼓室硬化症の手術 50

嶋根 俊和

頸部神経鞘腫の診断とインフォームドコンセント 218
頭頸部腫瘍術中の脳梗塞発症とインフォームドコンセント 246

下出 祐造

甲状腺がんの骨転移治療の対応 216
甲状腺上極の腫瘍に対する穿刺対応——頸部回旋による穿刺リスクの軽減 234

庄司 和彦

無治療/姑息的治療で良好な QOL を維持できた頭頸部悪性腫瘍症例 240

白崎 英明

アデノイド切除ポリサージャリー症例 174
喉頭展開が困難であったポリリーブ様変性症例 184

新川 秀一

診断に苦慮した中耳悪性リンパ腫の一例 12

新藤 晋

空気を生食で置換し治癒したアブミ骨手術直後の迷路気腫症例 64

洲崎 春海

慢性副鼻腔炎が誘因と考えられた血管性浮腫症例 112
耳鼻咽喉科を初診した破傷風症例 204

鈴木 秀明

気管内肉芽による気道狭窄をきたした重症心身障害

- 者 194
- 須納瀬 弘**
局麻下接着法の手術中に真珠腫が見つかった場合の
対処 40
- 泰地 秀信**
原因不明の難聴とされていた先天性サイトメガロウ
イルス感染症 18
発見が困難であった咽頭後隙歯ブラシ異物 172
- 高木 明**
アブミ骨手術時の底の前庭陥入に対する対応 46
前庭窓欠損症例の聴力改善手術 58
- 高橋 晴雄**
先天性低ガンマグロブリン血症児の髄膜炎後難聴に
対する人工内耳手術 72
- 竹内 万彦**
救命しえた気管腕頭動脈瘻の一例 198
- 竹野 幸夫**
難治性後鼻漏感を有する慢性副鼻腔炎症例における
咽喉頭酸逆流症と睡眠時無呼吸治療の効果 116
後鼻神経切断術における蝶口蓋孔の位置と神経線維束
の走行に関しての normal anatomical variants 126
- 田中 康広**
画像診断が困難なアブミ骨脚骨折症例——耳管通気
後に発症した伝音難聴症例 6
術中に gusher を呈した特発性髄液耳漏への対応 78
- 近澤 仁志**
非結核性抗酸性菌性中耳炎 34
- 茶園英明**
耳下腺悪性腫瘍との鑑別に難渋した結核症例 210
- 辻 裕之**
甲状腺がんの骨転移治療の対応 216
甲状腺上極の腫瘍に対する穿刺対応——頸部回旋に
よる穿刺リスクの軽減 234
- 辻村 隆司**
咽喉頭異常感症と診断された有茎性喉頭嚢胞症例 160
- 堤内 俊喜**
甲状腺がんの骨転移治療の対応 216
甲状腺上極の腫瘍に対する穿刺対応——頸部回旋に
よる穿刺リスクの軽減 234
- 坪田 大**
甲状腺がん気管内浸潤例に対する気管内ステントの
利用 232
- 内藤 泰**
難治性中耳炎に対する外耳道閉鎖術
——blind sac closure 36
小さな common cavity 例の人工内耳手術 74
- 中川 尚志**
過度の患者の期待と術後の不満への対応 82
- 中川 隆之**
がん化が認められた副鼻腔乳頭腫例 136
局所制御に難渋した脊索腫例 144
- 中谷 宏章**
喉頭全摘後に咽頭瘻孔をきたした透析症例への対応
182
- 中村 泰介**
頭頸部腫瘍術中の脳梗塞発症とインフォームドコン
セント 246
- 中山 明仁**
照射後再発進行喉頭がんの機能温存手術 224
- 行木 英生**
内頸動脈温存のための副咽頭間隙腫瘍に対するアン
ギオ 3DCT の活用 222
- 西崎 和則**
悪性外耳道炎も考えられた外耳道真珠腫症例 24
経過中に難聴を呈した両側 MRSA による慢性化膿性
中耳炎症例 38
- 西野 宏**
鼻副鼻腔腫瘍組織採取時の内頸動脈出血事例 130
抗がん薬併用同時化学放射線治療の救済手術におけ
る頸動脈破裂の危険予測 170
- 土師 知行**
咽喉頭異常感症と診断された有茎性喉頭嚢胞症例
160
- 橋本 省**
診断に苦慮した後頭蓋底骨肉腫症例 20
- 橋本 誠**
突発性難聴を発症した成人両側耳小骨奇形症例 10
急性めまいで発症し、初回の MRI 拡散強調画像では
検出が困難であった Wallenberg 症候群 92
- 花澤 豊行**
耳下腺悪性腫瘍との鑑別に難渋した結核症例 210
- 比野平 恭之**
Intact Canal Wall Tympanoplasty 48
- 平川 勝洋**
下咽頭破裂症例（広範囲の気腫を伴う）の治療
——気道確保の方法・診断・治療 178
椎骨動脈からの術後出血への対応（食道がん頸部転移）
——IVRF のバルーン止血、椎骨動脈結紮 242
- 平野 滋**
声帯の癬痕性疾患 190
- 福田 宏之**
喉頭顕微鏡下手術における喉頭展開困難例への対処
180

藤吉 達也

細菌検査がクリニック診療で大切な理由 226

藤原 敬三

難治性中耳炎に対する外耳道閉鎖術
— blind sac closure 36

古川 まどか

見逃しやすい下咽頭輪状後部・頸部食道がん 162
頸部神経鞘腫の診断 — 転移リンパ節との鑑別 220

朴澤 孝治

難治な成人の滲出性中耳炎に手術が奏効した症例 30
前医での治療に抵抗性であった喉頭外傷の治療 176

寶地 信介

気管内肉芽による気道狭窄をきたした重症心身障害者 194

星川 広史

CT, 上部消化管内視鏡で指摘されなかった下咽頭がん症例 158

本田 耕平

認知症を合併した頭頸部がん症例への対応 244

眞岩 智道

側頭骨吸収像を伴う混合性難聴の診断と治療 60

榊野 敦子

小児の難治性中耳炎（遷延性，反復性）にどのようにアプローチするか 32

増山 敬祐

難治性咽頭潰瘍 152
頸部腫脹 — 原発不明がんの頸部リンパ節転移か鰓原性がんか 214

松根 彰志

アレルギー性鼻炎に合併する鼻ポリープ 122

松脇 由典

内頸動脈仮性動脈瘤破裂に伴う大量鼻出血 118
錐体尖部コレステリン肉芽腫症に対する経蝶形骨洞手術の適応と実際 142

峯田 周幸

再発した喉頭乳頭腫の治療症例 188

蓼田 涼生

先天性低ガンマグロブリン血症児の髄膜炎後難聴に対する人工内耳手術 72

村上 知恵

気管内肉芽による気道狭窄をきたした重症心身障害者 194

森 一功

両側披裂部に生じた喉頭乳頭腫 186

森 浩一

耳鳴に対する音響療法の困難症例への対処 68

八尾 和雄

アレルギー性鼻炎患者の妊娠とトリクロール酢酸下鼻甲介化学剤手術 120

山下 裕司

突発性難聴を発症した成人両側耳小骨奇形症例 10
急性めまいで発症し，初回のMRI 拡散強調画像では検出が困難であった Wallenberg 症候群 92

山下 ゆき子

魚骨異物との鑑別が困難だった過長茎状突起 156

山中 昇

小児の難治性中耳炎（遷延性，反復性）にどのようにアプローチするか 32

山本 悦生

乳突腔障害に対する乳突腔充填術 42

山本 季来

特発性耳性髄液漏症例の診断と治療 66

山本 裕

停止に苦慮した聴神経腫瘍摘出後の髄液鼻漏 80

若杉 哲郎

気管内肉芽による気道狭窄をきたした重症心身障害者 194

和田 伊佐雄

鼻性眼窩内合併症と鑑別を要し，甲状腺眼症の関与も考えられた症例 110

索引

和文索引

あ

悪性外耳道炎 24
悪性外耳道炎の起炎菌 25
悪性リンパ腫 13, 102
アデノイド再増殖 174
アデノイド切除ポリサージャリー 174
アブミ骨脚骨折 6
アブミ骨周辺の骨化 50
アブミ骨手術 46
アブミ骨底 46
アブミ骨底の陥入 47
アレルギー性鼻炎（トリクロロール酢酸下鼻甲介化学剤手術） 120
アレルギー性鼻炎（鼻ポリープ） 122
アレルギー性鼻炎（CO₂ レーザー下鼻甲介焼灼術） 124
アンギオ3DCT（副咽頭間隙腫瘍） 222

い

異常な眼振（脊髄小脳変性症） 88
胃食道逆流症 4
異所性異時性視力低下 114
遺伝子検査 19
遺伝性難聴 19
異物（歯ブラシ） 172
咽喉頭異常感症 160
咽喉頭酸逆流（症） 4, 116, 164
咽喉頭の症状（心臓疾患患者） 154
咽頭異常感症（頸部超音波検査） 163
咽頭後壁の腫脹 152
咽頭後隙歯ブラシ異物 172
咽頭食道透視検査 160
咽頭皮膚瘻の閉鎖 183
咽頭瘻孔 182
インフォームドコンセント 246
インフォームドコンセント（神経

鞘腫） 218
インフォームド・コンセント（頭頸部悪性腫） 240
インプラント治療 140
インフルエンザ菌（反復・遷延性中耳炎） 32
隠蔽性耳管開放症 52

う

埋め込み型骨導補聴器 70

え

永久鼓膜穿孔 56
エビニード® 56
嚥下時の咽頭異物感（有茎性喉頭嚢胞） 160
嚥下障害（Wallenberg 症候群） 192
嚥下障害（結核症例） 208
嚥下造影検査（重症筋無力症診断） 208
嚥下痛（難治性咽頭潰瘍） 152
嚥下リハビリテーション 193

お

音響法 16
音響療法 68

か

開口障害（破傷風症例） 204
外耳道圧の変動 16
外耳道形成術 22
外耳道後壁保存鼓室形成術 49
外耳道真珠腫 24
外耳道内手術 40
外耳道の常在菌 29
外耳道の摘出範囲 37
外耳道の腫れ 8
外耳道閉鎖術 36
回旋性眼振 91
咳嗽（咽喉頭酸逆流） 164

開放プラトロー型 16
外リンパ漏（出） 14, 62
外リンパ瘻 64
外リンパ瘻診断基準案 15
下咽頭がん 158
下咽頭破裂症例（広範囲の気腫を伴う） 178
下咽頭輪状後部・頸部食道がん 162
化学放射線同時併用療法 146
蝸牛型耳硬化症 60
蝸牛瘻孔 14
顎顔面痛（鑑別） 212
過酸化水素水を用いた耳洗浄 29
風のカーテン（ミスト吸入対策） 125
過長茎状突起（鑑別） 156
顎骨壊死 212
カニューレ抜去困難症 198
下鼻甲介レーザー焼灼術 124
ガフキー陽性 35
下部食道括約筋 5
ガンマ腫 230
カルバペネム系抗菌薬 128
眼窩先端症候群 114
眼窩吹き抜け骨折 138
ガンシクロビル 19
眼振の性状 91
乾燥臍帯 18
ガンマグロブリン補償療法 72
顔面神経麻痺（後頭蓋底骨肉腫） 20
顔面神経麻痺（外耳道形成術） 22
顔面神経麻痺（耳下腺腫瘍） 210
顔面麻痺（Hunt 症候群） 2

き

気管カニューレの長期留置 195
気管狭窄（甲状腺扁平上皮がん） 232
気管狭窄（電気メス） 196
気管浸潤（甲状腺乳頭がん） 232

気管切開孔 192
気管内ステント 232
気管内肉芽による気道狭窄 194
気管腕頭動脈瘤 198
気骨導差 17
偽性球麻痺後遺症 208
気道確保（下咽頭破裂） 178
気道狭窄（下咽頭破裂） 178
気道狭窄（気管内肉芽） 194
気道狭窄（喉頭外傷） 176
気道クリアランスの改善 193
気導骨導差 10
気道熱傷（電気メス） 196
急性心筋梗塞症例（のどの違和感） 154
急性中耳炎 33
急性難聴 11
急性の開口障害 204
急性鼻副鼻腔炎（薬物療法） 128
急性副鼻腔炎 104
急性めまい（Wallenberg 症候群） 92
局所ステロイド療法 185
魚骨異物（鑑別） 156

く

グロームス腫瘍 21

け

経外耳道の換気チューブ留置術 31
頸静脈球移動 84
頸静脈グロームス腫瘍 20
経蝶形骨洞手術 142
頸動脈狭窄のある頭頸部腫瘍手術 246
頸動脈破裂の危険予測 170
頸部気腫（気道確保） 179
頸部健側回旋により穿刺リスクの軽減 234
頸部腫脹 214
頸部腫瘤 218
頸部神経鞘腫の診断 218, 220
頸部リンパ節転移 214
経迷路法 80
血液透析症例 182
結核症（耳下腺悪性腫瘍との鑑別）

210
結核性中耳炎 34
血管性浮腫 112

こ

コイル塞栓術 118
抗 DNA ウイルス薬 189
抗 RANKL モノクローナル抗体製剤 217
抗アレルギー薬の妊娠へのリスク 120
高位頸静脈球 84
高音急墜型難聴 18
抗がん薬併用同時化学放射線治療の救済手術 170
抗菌薬 28
好酸球浸潤 76
好酸球性中耳炎 76
抗酸菌培養 34
甲状腺がん気管内浸潤 232
甲状腺眼症 110
甲状腺がんの骨転移治療 216
甲状腺がんの肺転移 238
甲状腺腫瘍 236
甲状腺上極の腫瘍 234
甲状腺乳頭がん 232
甲状腺扁平上皮がん 232
口唇がん 244
高線量照射後の再発 224
喉頭亜全摘出術 224
喉頭外傷の治療 176
後頭蓋底骨肉腫 20
後頭蓋底腫瘍 20
喉頭がん治療後の下咽頭がん症例 158
喉頭顕微鏡下手術（喉頭展開困難例） 180
喉頭ストロボスコピー検査（声帯溝症） 190
喉頭全摘 182
喉頭直達鏡下レーザー手術 187
喉頭展開困難例（喉頭顕微鏡下手術） 180
喉頭展開困難例（ポリープ様変性） 184
喉頭乳頭腫 186
喉頭乳頭腫の再発症例 188

喉頭ファイバースコープ検査 166
喉頭麻痺 236
口内・咽頭痛 150
後鼻神経切断術 126
後鼻神経束の variation 症例 127
後鼻神経の解剖学的構造異常 127
後鼻漏感 116
後壁保存型鼓室形成術 51
硬膜外麻酔カテーテル 56
呼吸困難（再発性多発性軟骨炎） 166
後鼓室開放 49
鼓室形成術 50, 54
鼓室硬化症 50
鼓室硬化病変 82
骨 Paget 病 61
骨型 ALP 60
骨性偽性鼓膜輪 27
骨転移に対する治療 216
骨転移（甲状腺がん） 216
骨導閾値低下 16
骨導値の上昇 39
骨肉腫 21
後副鼻腔真菌症例 102
鼓膜換気チューブ 32
鼓膜換気チューブ留置 28
鼓膜形成術 52
鼓膜固有層 27
鼓膜チューブ留置（永久鼓膜穿孔） 56
鼓膜チューブ留置（術後耳漏） 78
鼓膜張筋腱 44
鼓膜の呼吸性動揺 17
鼓膜の浅在化 55
固有層 26
コルメラ 26, 43, 44, 54
混合性難聴 10, 54
混合性難聴（骨 Paget 病） 60

さ

細菌検査 226
鰓原性癌 214
サイトメガロウイルス 18
再発性多発性軟骨炎 166
三次元 CT 62

し

歯科インプラント治療 140
耳下腺悪性腫瘍（結核症例） 210
耳管開放症 16
耳管開放症診断基準 17
耳管機能検査 52
耳管狭窄（術後性滲出性中耳炎） 56
耳管通気処置（伝音難聴） 6
耳管ピン挿入術 52
自記オーディオメトリー 10
試験的鼓室開放術 11, 31
耳硬化症 46
自己拡張型気管内ステント留置 233
耳小骨奇形 11
耳小骨再建 42
自声強聴 17, 52
耳性髄液漏 66
耳性めまい 89
耳痛（Hunt 症候群） 2
指標追跡検査 88
耳閉感 12, 17
耳鳴（中耳悪性リンパ腫） 12
耳鳴再訓練療法 68
若年喉頭脂肪肉腫例 241
若年性鼻咽腔血管線維腫 108
重症筋無力症 208
重症心身障害者症例（気道狭窄） 194
重症皮疹 150
重度難聴（好酸球性中耳炎） 76
手術中の予期せぬ有害事象 196
術後乳突腔障害 42
術後脳梗塞の治療 246
術後耳 36
術前評価法としてのアンギオ 3DCT 222
術中の引火事例 196
上咽頭がん化学放射線治療後腫瘍 残存例 240
上咽頭がん根治照射 146
消化管運動機能改善剤 165
上顎洞異物 106
上顎洞炎 140
上顎洞血瘤腫 108
上顎洞真菌症 132

照射後再発進行喉頭がん 224
静注抗菌薬リセット治療 32
小児型特発性髄液耳漏 78
小児急性中耳炎 227
小児急性中耳炎診療ガイドライン 2009 28
小児急性鼻副鼻腔炎（薬物療法） 128
小児内耳奇形 62
小児の眼窩吹き抜け骨折 139
小児の穿通性口腔外傷 173
上半規管裂隙症候群 16
上部消化管内視鏡（下咽頭がん） 158
食道がん頸部転移 242
視力の低下 118
耳漏（鼓膜換気チューブ留置後） 28
耳漏（MRSA 感染慢性中耳炎） 48
心因性めまい 94
真菌塊の取り残し 132
神経鞘腫 220
神経鞘腫の診断 218
神経線維束の走行 126
人工中耳（難治性混合性難聴） 70
人工内耳（好酸球性中耳炎） 76
人工内耳（髄膜炎後難聴） 72
人工内耳（小さな common cavity 例） 74
人工内耳埋め込み術 72
真珠腫 8, 14
真珠種 24, 40, 82
真珠腫性中耳炎 14
真珠腫による内耳瘻孔 9
滲出性中耳炎 6, 12, 14, 30, 33, 56
滲出性中耳炎の再発 56
浸潤型後副鼻腔真菌症例 102
浸潤型副鼻腔真菌症 146
浸潤型副鼻腔真菌症 118
新生児聴覚スクリーニング 18
心臓疾患（咽喉頭に関する症状） 154
迅速発育群 34
心不全症例（のどの違和感） 154
心不全症例（夜の呼吸困難） 154

す

髄液鼻漏（聴神経腫瘍摘出後） 80
髄液流出のルート 80
髄炎漏 62
錐体尖部コレステリン肉芽腫症 142
水痘・带状疱疹ウイルス 2
髄膜炎 62
髄膜炎後難聴 72
睡眠時無呼吸治療 116
ステロイド局注（気管内肉芽） 195

せ

成人型多発性喉頭乳頭腫 186
声帯溝症例 190
声帯再生手術 190
声帯の瘢痕性疾患 190
脊索腫瘍（内視鏡下経鼻アプローチ） 144
脊髄小脳変性症 88
接着法 40
遷延性中耳炎 32
穿孔性慢性中耳炎 56
浅在化下結合織利用術式 27
浅在化鼓膜 26
全身骨シンチグラフィ 60
前庭開窓手術 59
前庭陥入 46
前庭神経炎 90
前庭水管拡大症 98
前庭窓欠損 58
前庭窓骨性閉鎖 11
先天性サイトメガロウイルス感染症 18
先天性真珠腫 14
先天性低ガンマグロブリン血症 72

そ

側頭骨高分解能 CT 15

た

大量鼻出血（内頸動脈仮性動脈瘤 破裂） 118
多系統萎縮症 88

単純穿孔性慢性中耳炎 56

ち

致死性髄膜炎 62
遅発性の気管狭窄 196
中耳悪性リンパ腫 12
中耳炎（起炎菌） 226
中耳炎（難治性） 32
中耳炎（非結核性抗酸菌性） 34
中耳換気障害 31
中耳充填術 79
中枢性めまい 89
中頭蓋窩骨欠損再建術 66
チューブの脱落 31
チューブ留置 30, 32
超音波ガイド下 FNAC 220
超音波検査（頸部神経鞘腫） 220
超音波検査（下咽頭輪状後部・頸部食道がん） 162
聴覚過敏症 69
長期留置型鼓膜換気チューブ留置 33
蝶形骨洞炎 104
蝶形骨内内頸動脈損傷 130
蝶口蓋孔の位置 126
聴神経腫瘍 80, 84
聴力改善手術（前庭窓欠損） 58
聴力が改善しなかった症例（真珠腫） 82
聴力低下（アブミ骨脚骨折） 6

つ

椎骨動脈からの術後出血 242
椎骨動脈結紮 242

て

低音部骨導閾値低下 17
低ガンマグロブリン血症 72
テストープ検査 66
伝音再建 44
伝音難聴（アブミ骨脚骨折） 6
電気メス 196
電極アレイ 74

と

頭位性めまい 96
頭頸部悪性腫瘍 240

頭頸部がん（認知症合併） 244
頭頸部結核症 211
頭頸部腫瘍術中の脳梗塞発症 246
糖尿病 39
特発性耳性髄液漏 66
特発性髄液耳漏 78
突発性難聴（耳小骨奇形） 10
トリクロール酢酸下鼻甲介化学剤手術 120

な

内頸動脈仮性動脈瘤形成・破裂 146
内頸動脈仮性動脈瘤破裂 118
内頸動脈出血 130
内頸動脈瘤破裂 147
内耳圧上昇 62
内耳奇形 62
内視鏡下鼻内手術（上顎洞真菌症） 132
内視鏡下鼻内手術（鼻ポリープ） 123
内視鏡下副鼻腔 113
内視鏡副鼻腔手術（上顎洞炎） 140
内耳瘻孔 8
内リンパ嚢手術 94
軟骨接合型アパセラム® 耳小骨 44
難治性咽頭潰瘍 152
難治性後鼻漏感 116
難治性混合性難聴 70
難治性耳漏 28, 34
難治性中耳炎（外耳道閉鎖術） 36
難治性頭位めまい症 96
難治性難聴（メニエール病） 95
難治性難聴（前庭水管拡大症） 98
難聴 58
難聴（手術手技に起因する） 54
難聴遺伝子 19

に

乳頭腫 134, 136
乳頭腫の悪性化のリスク 188
乳頭腫の鑑別 137
乳突腔充填術 42
乳幼児の鼻閉・いびき、痰がからんだ咳 227
妊娠（アレルギー性鼻炎） 120

認知症合併頭頸部癌 245

ね

粘膿性鼻汁に対する治療 129

の

脳梗塞急性期 93
のどの違和感 116

は

肺転移 238
破傷風症例（開口障害） 204
歯ブラシ異物 172
ハミング法（ミスト吸入対策） 124
バルサルバ手技 79
反復性中耳炎症例 32

ひ

鼻咽腔血管線維腫 108
鼻咽腔細菌叢の除菌 33
非結核性抗酸菌性中耳炎 34
肥厚性硬膜炎 115
皮質骨 44
鼻出血（内頸動脈仮性動脈瘤破裂） 118
微小がんの縦隔転移 236
微小乳頭がん 234
ビスホスホネート 61
ビスホスホネート（骨壊死） 212
鼻性眼窩内合併症 110
ビタミン D 剤 61
ヒトパピローマウイルス 188
鼻副鼻腔腫瘍 130, 145
鼻閉 116
鼻ポリープ（アレルギー性鼻炎） 122
鼻漏（蝶形骨洞炎） 104

ふ

副咽頭間隙腫瘍 222
副腎皮質ステロイド薬 113
副鼻腔異物 106
副鼻腔炎 114
副鼻腔原発悪性リンパ腫 102
副鼻腔乳頭腫 136
部分的迷路摘出術 17
プロトンポンプ阻害剤 165

へ

ベネット® 61
扁平上皮がん 136

ほ

放射線治療（上咽頭がん） 147
放射線ヨード内用療法 238
保存自家耳小骨 44
補聴器適合検査の指針 70
ポリサージャリー 175
ポリープ様変性症例 184

ま

マクロライド系抗菌薬 129
慢性化膿性中耳炎 38
慢性中耳炎 70
慢性副鼻腔炎 112, 116

む

ムコブズス中耳炎 227

め

迷路気腫 64
メニエール病 94
めまい 64, 96, 98
めまい（外耳道閉鎖術） 36
めまい（術後耳） 36
めまい（前庭水管拡大症） 98
めまい（多系統萎縮症例） 88
めまい（BPPV） 96

も

問診の重要性（上顎洞異物） 107

や

夜間の咳嗽（咽喉頭酸逆流） 164
薬剤感受性 28
薬剤性過敏症症候群 150
薬疹とウイルス感染の関係 151
薬物療法（小児急性鼻副鼻腔炎） 128

ゆ

有茎性喉頭嚢胞 160

よ

IV 型伝音再建 45

り

離脱型バルーン 130
両側顎下部腫脹（IgG4 関連疾患） 206
両側前頭洞内反性乳頭腫 134
両側メニエール病 94
リンパ節転移 218

れ

レーザー手術（喉頭乳頭腫） 186

わ

ワンアルファ® 61
腕頭動脈結紮術 198

欧文索引

A

air density 64
AOM 33
AOM on OME 33

B

B-cell lymphoma 13
 β -ラクタム系抗菌薬 128
BAHA（bone-anchored hearing aid）手術（難治性混合性難聴） 70
blind sac closure 36
BLNAR（ β -lactamase negative ampicillin resistant *Haemophilus influenzae*） 4
BPPV（benign paroxysmal positional vertigo） 96

C

cerebrospinal fluid otorrhea 66
cidofovir 189
CO₂ レーザー 189

CO₂ レーザー下鼻甲介焼灼 124
common cavity 74
Corynebacterium 24, 42
CT（下咽頭がん） 158
CT 値（副鼻腔異物） 107
CTP 検査 14

D

DNA-DNA Hybridization (DDH) 法 34
DWI 偽陰性率 93

E

extended central drainage procedure 134

G

gastroesophageal reflux disease (GERD) 4
GJB2 遺伝子変異 19
gusher 62, 78

H

Haemophilus influenzae 28
His 角の鈍角 4
Hunt 症候群 2

I

¹³¹I 内用療法 217
IgG4 関連疾患 206
In-patient Antimicrobial Reset Therapy (IPARET) 32
intact canal wall tympanoplasty (ICWT) 49
IVRF のバルーン止血 242

L

large vestibular aqueduct syndrome (LVAS) 98
laryngopharyngeal reflux disease (LPRD) 4, 116
lateral healing 54

M

masked patulous Eustachian tube 52
modified lothrop procedure 134
Moraxella catarrhalis 4, 29
MRI 拡散強調画像（急性めまい症例） 92
MRSA 29, 38, 48
MRSA 感染慢性中耳炎 48

O

OK-432 局所注入療法 230

P

pars inferior 9
pars superior 9
power assisted surgery (PAS)（喉頭乳頭腫） 189

R

rapid growing *Mycobacterium* (RGM) 34

S

semi hot ear 28
short arm 型良性発作性頭位性めまい症 96
stapedotomy 46
Streptococcus pneumoniae 28
surfer's ear 22
surgical fire 196

T

T チューブからの大量出血 198
teflon wire piston 58
tensor tympani tendon (TTT) 44

tinnitus retraining therapy (TRT) 68
TTAG 法 16
tympanomeatal flap (TM Flap) 44

V

varicella-zoster virus (VZV) 2
Vibrant Soundbridge® (VSB) 70
VZV の再活性化 3

W

Wallenberg 症候群 90, 92, 192

数字

24 時間食道 pH モニター 5

じ び いんこう か
耳鼻咽喉科
てこずった症例しょうれいのブレイクスルー

2013 年 11 月 15 日 初版第 1 刷発行 ©

〔検印省略〕

編 集 ほんじょう いわお 本庄 巖
発行者 平田 直
発行所 株式会社 中山書店
〒113-8666 東京都文京区白山 1-25-14
TEL 03-3813-1100 (代表)
振替 00130-5-196565
<http://www.nakayamashoten.co.jp/>

印刷・製本 株式会社 真興社

Published by Nakayama Shoten Co., Ltd.

ISBN 978-4-521-73898-7

Printed in Japan

落丁・乱丁の場合はお取り替え致します。

- ・本書の複製権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社中山書店が保有します。

- ・（社）出版者著作権管理機構 委託出版物）

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、（社）出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

本書をスキャン・デジタルデータ化するなどの複製を無許諾で行う行為は、著作権法上での限られた例外（「私的使用のための複製」など）を除き著作権法違反となります。なお、大学・病院・企業などにおいて、内部的に業務上使用する目的で上記の行為を行うことは、私的使用には該当せず違法です。また私的使用のためであっても、代行業者等の第三者に依頼して使用する本人以外の者が上記の行為を行うことは違法です。
